

23年8月
第370号



あふれる歓声 笑顔・笑い

大賑わい 夏休みを楽しむ!



里浜の魅力 保全活動等伝える

今年も参加 子ども環境会議
湿地の活動団体との間で ズームで意見交換。ポスター作成を目指します(7月17日)



手づくり“納涼祭り”

一緒に花火「めっちゃ楽しい」
放課後子ども教室 居場所活動の一環として、

29日公民館や隣接するパブレスト協会、イバノ駐車場などを会場に、初めての納涼会が行われました。青少年



焼きそば たこ焼き
父母 高齢者も活躍

公民館では焼きそば、たこ焼きなど
父母や高齢者が手作りでサービス。

未来育成部主催。水の入った「風船釣り」や輪投げ遊び、外れ無しの「わくわくくじびき」水鉄砲で景品をゲット出来る遊びなど、子ども達や上級生、父母アイディアと手作り。花火も家庭用が中心。それぞれが準備から楽しみながらの参加。ちびっ子から大人まで心から楽しんだ「納涼祭り」でした。



名物のスイカ割り

ふうせん釣り



水鉄砲で遊ぶ 各グループ高校生が運営

旧盆子とエイイサー

26日(土)午後6時

演奏場所①宮城善一さん駐車場(6時)②サンハイツ(6時40分)③ビイオテラス浦添児童公園(7時15分)④嘉陽家う神屋前(7時45分)

※各演奏場所の開始時間は予定です。移動時間等変動あり。また、当日雨天等の時は翌27日に変更実施。

ゆくいだきくつりも開催

「地球沸騰化時代が到来した」最近、国連事務総長からでたショッキングな発言だ。今年、世界各地で40度〜50度を超す猛暑が観測されているという。乾燥と高温で山火事も頻発、かと思えば大水害に見舞われるところも発生している。日本でも異常高温や集中豪雨など「異常気象」を実感する。「地球温暖化」の始まりかと思っていたら、時代はすでに「沸騰化」という「新たなステージに移っている」という。

だが、マスコミ報道や、日常生活を通じた県内や日本社会の現状は「SDGs(持続可能な開発目標)」社会づくりが始まったばかりというのが実感。多くの人間にとっては「SDGsってなに?」という段階かも知れない。国連事務総長の発言は「その程度では地球温暖化は止まらない」と言っているように聞こえる。近海で勢力を強め猛威をふるった台風6号も温暖化の影響だろうか?

どんな努力も無駄になる「臨界点」まで「後10年も無い」という指摘もある。そんな時代に、せっかく残った自然の海「里浜」を埋め立てる「西海岸開発計画」はまさに開発優先の発想。ましてや戦争に備えるための「軍功移設」などもってのほかです。

共に集い 祝う場に!

敬老会 9月9日開催へ

公民館小宴 午後2時〜3時

お弁当・祝いの品はお昼時間間に合わせて自宅配布を行います。